



## 2023年9月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月31日

上場会社名 シミックホールディングス株式会社  
コード番号 2309 URL <https://www.cmicgroup.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 中村 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 望月 渉

TEL 03-6779-8000

四半期報告書提出予定日 2023年2月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年9月期第1四半期の連結業績(2022年10月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	29,677	20.5	4,270	26.5	3,401	1.7	1,950	7.4
2022年9月期第1四半期	24,629	30.4	3,375	315.7	3,462	330.9	2,107	275.0

(注) 包括利益 2023年9月期第1四半期 2,154百万円 (13.5%) 2022年9月期第1四半期 1,899百万円 (42.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	111.73	
2022年9月期第1四半期	116.48	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年9月期第1四半期	112,193	42,612	29.0	1,871.76
2022年9月期	107,590	41,269	29.4	1,801.31

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 32,540百万円 2022年9月期 31,624百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期		5.00		45.00	50.00
2023年9月期					
2023年9月期(予想)		5.00		45.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年9月期 期末配当金の内訳 普通配当35円00銭 記念配当10円00銭(創業30周年記念配当)

### 3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	95,000	12.4	5,000	57.8	4,700	65.1	2,900	65.4	165.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) ノックオンザドア株式会社、除外 社 (社名)

(注)詳細は、添付資料9ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料9ページ「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年9月期1Q	18,923,569 株	2022年9月期	18,923,569 株
2023年9月期1Q	1,538,717 株	2022年9月期	1,367,340 株
2023年9月期1Q	17,454,819 株	2022年9月期1Q	18,090,039 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

(注)期末自己株式数には、株式給付信託(J-ESOP)が保有する当社株式(2023年9月期1Q166,000株、2022年9月期166,000株)が含まれております。また、株式給付信託(J-ESOP)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2023年9月期1Q166,000株、2022年9月期1Q166,000株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2023年1月31日(火)に機関投資家及び証券アナリスト向けに、オンライン説明会を開催する予定です。説明内容(動画)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報) .....	10
3. 補足情報 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## [当連結会計年度の概況]

当社グループは、製薬企業のバリューチェーンを全面的に支援する独自の事業モデルPVC (Pharmaceutical Value Creator) を持続的成長の基盤として、“個々人の健康価値を最大化”する事業モデルPHVC (Personal Health Value Creator) への展開を目指しております。新規の創薬基盤技術による医薬品開発やデジタル化への対応を強化するとともに、ヘルスケア分野へ事業領域を広げ、予防から診断、治療、予後に至る疾患のトータルケアの支援等を通じて、持続的成長に向けたグループ経営基盤の強化と飛躍を図っていく方針です。

2021年11月策定の中期計画 (FY2022-2025) では、①ヘルスケアビジネスの進展、②疾患予防・治療の研究開発から販売まで総合的な支援の強化、③社会的有益性の高い事業を通じたサステナブルな社会への貢献、を重点課題に掲げております。中期計画2年目となる2023年9月期は、最終年度の目標達成に向けて、各課題への施策を着実に進めてまいります。

## [当第1四半期連結累計期間の業績]

当第1四半期連結累計期間においては、中期計画の重点課題への取組みとして、デジタルと人財の両面から地域社会を支える自治体向けソリューションの検討や、製薬企業及びバイオベンチャーの新規案件獲得と人財確保に注力しました。

ウクライナ情勢の長期化により、事業への影響が懸念される状況が続いておりますが、当第1四半期連結累計期間での当社グループへの直接的に大きな影響はありません。エネルギー・原材料等の価格動向や供給問題については、引き続き注視し、事業への影響を最小限に留めるよう取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、ヘルスケアソリューションセグメントにおける新型コロナウイルス感染症関連の自治体支援業務が大幅に伸長したことに加え、製薬ソリューションセグメントも伸長したことにより、売上高29,677百万円 (前年同期比20.5%増)、営業利益4,270百万円 (前年同期比26.5%増) と、前年同期を大幅に上回りました。一方、前期末からの円高進行により営業外費用に為替差損を計上したことから、経常利益3,401百万円 (前年同期比1.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,950百万円 (前年同期比7.4%減) となりました。

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率 (%)
売上高	24,629	29,677	+5,048	+20.5
製薬ソリューション	17,723	20,494	+2,770	+15.6
ヘルスケアソリューション	7,069	9,646	+2,577	+36.5
調整額	△163	△463	△300	—
営業利益	3,375	4,270	+894	+26.5
製薬ソリューション	1,306	1,722	+416	+31.8
ヘルスケアソリューション	2,395	2,945	+550	+23.0
調整額	△326	△398	△71	—
経常利益	3,462	3,401	△60	△1.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,107	1,950	△156	△7.4

セグメント別の業績は以下のとおりです。

#### <製薬ソリューション>

製薬企業のバリューチェーンに対し、CRO（医薬品開発支援）事業、CDMO（医薬品製剤開発・製造支援）事業、Market Solutions（医薬品営業支援、オーファンドラッグ等の開発・製造販売・流通）事業を通じてソリューションを提供するPVC（Pharmaceutical Value Creator）事業モデルを展開しています。

売上高につきましては、全事業において伸長したことにより20,494百万円（前年同期比15.6%増）、営業利益につきましても1,722百万円（前年同期比31.8%増）と、増収増益となりました。

#### CRO事業

- ・売上高は前年同期を上回る
- ・開発案件の引き合いが増加
- ・DCT（Decentralized Clinical Trial：遠隔診療、訪問看護、ePRO、ウェアラブルデバイス等）の促進
- ・海外バイオベンチャーの日本進出や異業種からのヘルスケア領域参入支援の強化
- ・バイオアナリス業務において、次世代バイオ医薬品や遺伝子治療薬、バイオマーカーなど、モダリティの多様化が進む先端領域の創薬支援

#### CDMO事業

- ・売上高は前年同期を上回る
- ・新型コロナウイルス感染症拡大やジェネリック品質問題の影響に対し、安定供給の確保に向けたニーズが拡大
- ・製造におけるエネルギー、原料、包装資材などの価格が上昇
- ・納期の長期化などの供給不足リスクに顧客や調達先と連携して対応
- ・米国の業績回復遅れ、新規案件獲得に注力

#### Market Solutions事業

- ・売上高は前年同期を上回る
- ・MR派遣業務の引き合いが順調
- ・尿素サイクル異常症治療薬グリセロールフェニル酪酸（海外販売名Ravicti®）の日本における開発開始とこれに伴う研究開発費の増加

#### <ヘルスケアソリューション>

医療関連施設及び医療従事者等を総合的に支援するSite Support Solutions事業と、個人及び自治体等にヘルスケアの新たなエコシステムを用いたソリューションを提供するHealthcare Revolution事業で構成しております。

売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種や陽性者フォローアップ、抗原検査キット販売等の支援が大幅に伸長したことにより9,646百万円（前年同期比36.5%増）、営業利益につきましても2,945百万円（前年同期比23.0%増）と、増収増益となりました。

#### Site Support Solutions事業

- ・新型コロナウイルス感染症ワクチン及び治療薬等開発案件の減少により、売上高は前年同期を下回る
- ・足元は臨床試験案件が増加し、受注高が伸長
- ・臨床試験（研究）をはじめとする医療機関向け支援ニーズも拡大
- ・アカデミアとの連携を促進

#### Healthcare Revolution事業

- ・売上高は前年同期を大幅に上回る
- ・新型コロナウイルス感染症関連の支援業務が拡大
- ・疾病予防・健康情報やIT技術を融合したビジネスの拡大に取り組む
- 希少疾病を中心に患者・家族向け支援プラットフォームを軸にした事業を行うノックオンザドア㈱を子会社化

[経常利益]

当第1四半期連結累計期間の経常利益は3,401百万円(前年同期比1.7%減)となりました。  
営業外収益として助成金収入等32百万円、営業外費用として為替差損等901百万円を計上しております。

[親会社株主に帰属する四半期純利益]

当第1四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は1,950百万円(前年同期比7.4%減)となりました。

特別損失として固定資産除却損等25百万円、法人税等として1,516百万円及び非支配株主に帰属する四半期純損失として91百万円を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末比で4,603百万円増加し、112,193百万円となりました。これは主に、売掛金及び契約資産、無形固定資産、流動資産の「その他」(主に未収還付法人税等)等の増加によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末比で3,260百万円増加し、69,581百万円となりました。これは主に、コマーシャル・ペーパー及び借入金等の増加と賞与引当金等の減少によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末比で1,343百万円増加し、42,612百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年9月期の通期業績見通しにつきましては、今後の新型コロナウイルス感染症関連の業務の見通しや、ウクライナ情勢による事業への影響等、現時点で入手可能な情報に基づき検討した結果、2022年11月8日に公表いたしました「2022年9月期決算短信」の連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,806	11,550
受取手形、売掛金及び契約資産	24,632	26,086
商品及び製品	526	698
仕掛品	4,384	4,829
原材料及び貯蔵品	3,932	4,580
その他	2,786	4,391
貸倒引当金	△58	△58
流動資産合計	48,010	52,077
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,211	17,787
機械装置及び運搬具(純額)	9,454	9,460
土地	6,836	6,835
その他(純額)	10,319	8,790
有形固定資産合計	42,822	42,875
無形固定資産		
のれん	32	415
その他	2,260	2,517
無形固定資産合計	2,292	2,932
投資その他の資産		
投資有価証券	3,039	2,741
敷金及び保証金	2,350	2,354
その他	9,793	10,270
貸倒引当金	△719	△1,057
投資その他の資産合計	14,464	14,309
固定資産合計	59,580	60,116
資産合計	107,590	112,193

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,190	1,382
1年内返済予定の長期借入金	3,602	3,658
コマーシャル・ペーパー	—	4,000
未払法人税等	3,868	1,544
賞与引当金	6,110	2,192
役員賞与引当金	92	—
受注損失引当金	1,225	1,290
その他	19,783	23,329
流動負債合計	35,872	37,399
固定負債		
長期借入金	13,534	15,132
退職給付に係る負債	11,000	11,161
その他	5,914	5,887
固定負債合計	30,448	32,181
負債合計	66,320	69,581
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,087	3,087
資本剰余金	6,093	6,093
利益剰余金	24,444	25,597
自己株式	△2,346	△2,633
株主資本合計	31,279	32,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	742	554
為替換算調整勘定	△432	△194
退職給付に係る調整累計額	34	35
その他の包括利益累計額合計	344	395
非支配株主持分	9,645	10,072
純資産合計	41,269	42,612
負債純資産合計	107,590	112,193



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
売上高	24,629	29,677
売上原価	18,093	21,678
売上総利益	6,535	7,999
販売費及び一般管理費	3,160	3,728
営業利益	3,375	4,270
営業外収益		
受取利息	0	1
為替差益	109	—
助成金収入	6	11
その他	20	19
営業外収益合計	137	32
営業外費用		
支払利息	37	42
為替差損	—	816
持分法による投資損失	—	15
その他	12	27
営業外費用合計	50	901
経常利益	3,462	3,401
特別損失		
固定資産除却損	23	13
投資有価証券評価損	—	11
特別損失合計	23	25
税金等調整前四半期純利益	3,438	3,375
法人税等	1,330	1,516
四半期純利益	2,108	1,859
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△91
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,107	1,950

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	2,108	1,859
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112	△188
為替換算調整勘定	△17	479
退職給付に係る調整額	△79	4
その他の包括利益合計	△209	295
四半期包括利益	1,899	2,154
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,937	2,001
非支配株主に係る四半期包括利益	△38	153

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結累計期間において、ノックオンザドア株式会社の実施する第三者割当増資による議決権付優先株式の引受及び発行済の議決権付優先株式の譲受により株式を取得し、同社を連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社及び一部の連結子会社における税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。この変更による当第1四半期連結会計期間及び当第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した(追加情報)(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)の仮定について重要な変更はありません。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

## (セグメント情報)

## I 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	製薬 ソリューション	ヘルスケア ソリューション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,673	6,955	24,629	-	24,629
セグメント間の内部 売上高又は振替高	50	113	163	△163	-
計	17,723	7,069	24,793	△163	24,629
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	1,306	2,395	3,702	△326	3,375

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△326百万円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用であり、当社(持株会社)に係る費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	製薬 ソリューション	ヘルスケア ソリューション	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,151	9,525	29,677	-	29,677
セグメント間の内部 売上高又は振替高	342	121	463	△463	-
計	20,494	9,646	30,141	△463	29,677
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	1,722	2,945	4,668	△398	4,270

- (注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△398百万円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用であり、当社(持株会社)に係る費用であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第1四半期連結会計期間において、ノックオンザドア株式会社を子会社化したことに伴いヘルスケアソリューションセグメントにおいてのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、408百万円であります。

## 3. 補足情報

受注の状況

受注実績

(単位：百万円)

報告セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)		前連結会計年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
製薬ソリューション	20,637	72,046	20,514	76,239	80,907	74,742
ヘルスケアソリューション	4,994	14,661	13,945	20,592	29,982	16,139
合計	25,632	86,707	34,460	96,832	110,890	90,882

(注) 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引については相殺消去しております。